

タイトル 歯科診療における業務分散化の取組

リモート
アクセス

申請事業者：佐野歯科（宮崎市）
業 種：製造業・その他

コンサル事業者：株式会社システム開発（宮崎市）
業 種：情報サービス・情報通信業



ポイント システムの複数台運用とリモート化で業務効率化を実現！

取組の概要

導入部門：歯科診療（5名体制）
導入業務：受付業務（1名体制）レセプト業務（2名体制）
目的：業務の効率化とリモート化の実現
ツール：歯科カルテシステム（PrecioSmart）
手法：システムのリモート化と複数台での運用
規模：予約 40件/日 1名体制の業務
レセプト枚数 400件/月 2名体制の業務（先生とスタッフ1名）
導入費用：1,400千円（ソフトウェア 1,150千円：コンサル 250千円）

導入前

- ・受付業務 → 受付1台で対応
- ・カルテ入力 → 受付1台でスタッフ複数対応
- ・レセプト業務 → 受付1台で複数人対応

導入後

- ・受付業務 → 複数台で効率よく対応
- ・カルテ入力 → 複数台でスタッフそれぞれが効率よく対応
- ・レセプト業務 → 場所を選ばずリモートによる作業

取組の背景

- ・コロナ禍で待合室が密にならないようにしたい。
- ・受付に1台しかシステムがないため業務が非効率と考える。
- ・診療時間以外でも自宅で作業を行いたい。
- ・複数のスタッフで業務の分散化を行いたい。

- ・システムを複数台導入することで業務のスピードアップを期待。
- ・待合室での患者の滞在時間を減らすことができる。
- ・システムのリモート化の実現により場所と時間を選ばず業務ができる。

取組の成果

- ・システムの複数台導入により密を避け業務の効率化が可能に。
- ・システムのバージョンアップにより、リモートでの作業が可能に。
（診療後のレセプト業務、2時間/日をリモートにより“0”に削減）
- ・今後、訪問診療で外出した際の入力業務につながる。
- ・受付での患者様対応の時間が短くなり、コロナ禍の中、待合室の密を防ぐことができる。
（待合室の滞在時間平均15分/人を要していたが平均4分/人まで短縮）
（車内で待機させていた患者、平均8人/日を“0”に削減）